
「男女共同参画・若手問題シンポジウム」

「博士号を取得して多様なキャリアパスを手に入れる」

Alternative Careers after PhD Course

オーガナイザー: 日本生物物理学会 男女共同参画・若手問題検討委員会

Organizers: Committee for Promoting Equal Participation of Men and Women and for Encouraging Young Researchers in
the Biophysical Society of Japan

日時: 9月23日(日)12:00~12:50(ランチオンセミナーの時間帯)

場所: E会場 (多元数理科学棟 1階 109)

昼食: お弁当とお茶が無料で提供されます。ただし、数に限りがあります。

形式: 講演会

講演者: 当日発表。3名程度を予定

経済の悪化にともない、大学、研究機関および企業における新規雇用が極端に減り、若者が社会で活躍する場が非常に少なくなっています。大学で博士号を取得して研究者としてがんばっていかようと考えていたのに、思うように道を拓くことができないという話も、残念ながらよく聞くようになりました。このことで、若い方々が博士号を取得する道に進まなくなってきました。博士号取得者の減少は、長い目で見ると日本の科学技術力の低下につながり、悪循環に陥ってしまいます。

この状況を打開するために、日本社会における博士号取得者の評価を高めることも重要ですが、大学で博士号を取得したら、次は大学や研究所で研究をするものであるという固定観念を見直す必要もありそうです。博士号を取得した後に企業で活躍されている方はかなりおられます。また、政府や大学も、博士号取得後のキャリアに関する様々な取り組みを行ってきています。

そこで、生物物理学を含む理工系の分野において、博士号取得後にどのようなキャリアの可能性があるのかを、人材派遣会社から講師をお招きして紹介してもらおうこととしました。その上で、博士号取得後にさまざまな経歴を歩んでこられた数名の方に、それぞれのご経歴について話していただくことを予定しております。これらのお話を聞きながら、フロアからのご意見や質問を受け、時間が許す限りディスカッションをしていきたいと考えております。特に博士前期および後期課程学生のなまの声がかいてくることを期待しています。

老若男女を問わず、ご関心のある方々の参加をお待ちしております。